

株式会社翠光トップライン

Presents

メールマガジン #7

10月7日

千葉県北西部、

「できることなら、帰宅困難はゴメンだが、万が一のために頭に入れておこう」

「もしも」大停電が起きたら、充電現場では・・・



北海道地震札幌市中央区



北海道地震 札幌市役所
携帯電話の充電サービス



台風15号 千葉・富里市役所



熊本県益城町 避難所となった体育館

10月7日午後10時41分ごろに発生した千葉県北西部を震源とする地震は、東京・足立区や埼玉・川口市などで最大震度5強を記録しました。東京23区での震度5強は10年ぶりです。

■ 帰宅をあきらめたら、徒歩かタクシーかそれとも…

震度 5 強以上の地震が起きると、JR も地下鉄も運行を停止します。再開は、沿線の安全確認を終えてからで、その安全確認に要する時間は、一般に JR の方が遅い。沿線にビルや歩道橋、看板などが多く、それらの落下物がないかどうかにかかると時間がかかるのです。地下鉄は地上を走る部分以外は、その必要性が基本的にありません。線路や電線などの点検だけで済むため、地下鉄の方が安全確認は早いのです。

3.11 東日本大震災のとき、JR は当日中の運転再開を断念しましたが、東京メトロは午後 8 時 40 分、銀座線の全線、半蔵門線の一部区間で再開したのを皮切りに順次運転を再開。終夜運転を行っていました。震度 6 弱でも、地下は耐震性が高く、早期の復旧が期待できます。

■ 徒歩帰宅しか方法の無い人は、どうするか…

◆ 滞留場所から自宅まで 10km が判断の分岐点

首都直下地震の被害想定では、滞留場所から自宅までの距離が 10 キロは全員帰宅可能としていて、10～20 キロは被災者個人の運動能力の差から帰宅困難割合は 1 キロ遠くなるごとに 10% 増加すると仮定しています。そのため、20 キロ以上は全員が帰宅困難です。7 日の地震のように夜間はなおさらで、10 キロ超の人は歩いて帰宅する以外の方法を考えるのが無難です。

徒歩がダメなら、その場にとどまることを考える。東京都内の施設などは、規模に応じて帰宅困難者の受け入れを前提として、毛布や水などを備蓄しているところがあります。そういうところに一時避難するのが一つです。今回はそのような商業施設での帰宅困難者のサポートはなかったとみられますが、政府によると、東京、神奈川、千葉で合計 6 カ所の学校の体育館などが開放され、帰宅困難者約 120 人が一時避難したとのこと。当時の街の状況を考えると、少ないように思いますが、再開した鉄道各社が遅くまで運行していたことで、街にあふれた帰宅困難者も疲れた体を電車で預けたのだらうと思います。

大規模商業施設は、駅に近いことが多いので、電車の運行再開を待つにも都合がいいですが、どこも明るく、うるさいので、万が一休むことを想定し、通勤カバンにはアイマスクと耳栓を用意しておくのが効果的です。少しでも目を閉じて休めるのと休めないのとでは、疲労回復の度合いが違います。

■ 帰宅が難しいときの奥の手は、会社に戻る。鉄道情報は公式ツイッターで…

あてもなく街を歩いたり、寒い公園で始発を待つより、商業施設で横になる方がまだ楽だろう。帰宅が難しいときの奥の手が、会社に戻るのだと言います。

■東日本大震災などを教訓に、帰宅困難者対策が進み、東京都は…

東京都は帰宅困難者対策条例を制定。大企業には、一斉帰宅抑制が努力義務として求められています。これは、災害時の消防や救急などの活動を妨げないようにする意味もあります。これを応用すると、中小企業も耐震性の高いビルに入居しているなら、会社にとどまる方が無難ということです。特に夜間での被災で帰れないケースでは、会社に避難して一夜を明かすという判断はとても重要です。

停電でなければ、会社ならスマホの充電もできるし、冷暖房もあるだろうし、大型商業施設や避難所よりは、より快適に休むことが可能です。こんな時に備えて会社にスマホの「防災時非常用充電設備」があると良いですね。

◇ ◇ ◇

震度 6 弱では、道路規制がかかり、災害救助用車両の通行が優先されます。今回は、それより小さい震度だったが、直下型地震の熊本地震のように余震の震度が最初の地震の震度を上回ることがありうるだけに、「地震のときのタクシーやバスでの帰宅は、いつ渋滞に巻き込まれても不思議ではないので、やめた方がいい」と云います。

つまり、帰宅困難に直面したときは、安全性が高く復旧の早い電車を確実に利用するか、安全にとどまる方法を模索するかに限ると云います。

メールマガジン 7 回目です！

株式会社翠光トップラインは、“充電難民を救う!!”をスローガンに防災非常用電源 BPS (Back-up Power Station)を販売しております。弊社の取組について知っていただくと同時に、世の中の防災ニュースを紹介し、皆様のお役に立てればと思い、メールマガジンを始め、今回は 7 回目です。

BPS の詳細はこちら→<https://www.suikohtl.com/bps>

こんなニュース見つけました!!

2021/10/15 朝日新聞デジタル

防災のプロに聞く「常に持ち歩きたい 5 点」 備えの日常化を心がけて

詳細はこちら→

<https://www.asahi.com/articles/ASPBD6FMQPBCUTFL00X.html>

2021/10/12 防災ニッポン

災害時は原則「在宅」で！集合住宅の防災組織で備える

詳細はこちら→<https://www.bosai-nippon.com/feature/3891>

2021/10/14 防災ニッポン

命を守る「災害・避難カード」！逃げるタイミングを住民同士で共有

詳細はこちら→

<https://www.bosai-nippon.com/feature/3894>

BPS が設置されている場所のご紹介：京急シティ立会川様



AED（自動体外式除細動器）一体型 BPSを
2021年6月、京急シティ立会川様に設置



1階 ロビー共用部に設置



14階建
築年月 1999年11月
総戸数 77戸



9

メールマガジン発行元：

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-11-10 トップライン BLD
株式会社翠光トップライン
Tel:03-5688-3177 Fax:03-5688-3277
URL:<http://www.suikohtl.com/>
E mail: bps@suikohtl.com